

# 預かり保育事業の 充実へ向けた取り組み

川崎市議会議員 矢沢たかお

今回の選挙公約に掲げた多子世帯の保育料減免が、来年4月から実現することになりました。また、前回議会でも取り上げた幼児教育の振興に向けた取り組みについて進展がありましたので、ご報告いたします。

市内就学前児童数は2016年にピークを迎え、現在緩やかな減少傾向となつていますが、依然として市内保育所利用申請者数は増加傾向にあります。

## 補助金加算2園のみ

共働きが一般化する中で、公立幼稚園、幼稚園における預かり保育が、本市では独自に4つの要件があるのです。

市も課題解決に向け、来年度予算編成にあたって検討を進めています。

「利用者負担額を月額9000円以下にする」を設定しています。結果、本市独自要件以外を満たしている園は26園あるにも関わらず、補助対象となつているのはわずか2園という状況です。園長からは、「預かり保育を多く一生懸命実施すればするほど、幼稚園側の負担が増え成り立たなくなってしまう」という切実な声も聞いており、改善に向けて議会でも取り上げてきました。この本市独自の要件を撤廃すれば、各園は本市の幼稚園型一時預かり事業である「就労家庭児童等受入加算」を受けやすくなり、国が定める11時間以上の預かりを実施する園が増えるの見込まれ、多くの子育て世帯が利用しやすくなります。



矢沢たかお

●川崎市宮前区初山生まれ(38歳)  
菅生小、菅生中卒 / 法政大学  
第二高等学校卒 / 法政大学情  
報科学部卒 / 商社系IT企業  
2023年4月3期目当選

宮前区初山1-20-12  
Tel 044-976-2727

矢沢たかお

投票